

学校教育目標

心豊かで確かな力をもちたくましく生きる子どもの育成

経営理念

学校は面白いところ！子供達が生き生きと活動する学校の創造

平成31年度がスタートしました。

そしていよいよ平成の時代が終わり、新しい時代の始まりです。

新しい年、これからの社会はどのように変化していくのか、様々な場で論じられその姿がイメージされています。疑いようもなく子供達にとって、自分達が生きていくこれからの時代のことです。不安なことが大きく伝えられ、希望が持ちにくい未来などと言われています。しかし、どんな未来であろうとも生き抜いていくために、このたび学習指導要領が改訂され、2020年度から新たな学びが本格的にスタートするのです。昨年度と今年度はその新たな学びへの移行期間として、各教科、領域で学び方が変わりつつあります。本県ではすでに平成26年12月に広島版「学びの変革」アクションプランを策定し、全県全校でその研究実践を進めています。尾道市においても同様に、尾道教育みらいプラン2を展開・推進しています。本校でも新たな学びを創造し、推進していこうと微力ながら教育実践を進めています。

さて、私、向島中央小学校長として二年目を迎える今年、昨年度の反省を踏まえ、向島中央小学校の児童、保護者、そして地域の皆様のために、職員とともに教育活動を進めていく所存です。そして何よりも児童にとって価値の高い教育内容の創造に取り組んで参りたいと考えております。

そこで、今年度の学校経営理念を上記のとおり、「学校は面白いところ！子供達が生き生きと活動する学校の創造」としました。子供達が学校に来ることが楽しみになるために、まずは授業が「面白い」と思えるようにします。そして、様々な行事や活動を通して人とつながり、人と関わることで思いやりの心を育み、社会の一員としての責任等を学び身に付けさせたいと考えています。今年度様々な学習活動を仕組むことで、子供達が輝く向島中央小学校にしていきます。

最後になりましたが、広島県教育の目標「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の創造」をめざし、同様に「尾道で学んで良かった、向島中央小で学んで良かった、学ばせて良かったと思える日本一の教育市、日本一の小学校の創造」に向けて、教職員一同、一丸となって取り組んで参ります。

どうか、今年度も本校教育に対してご理解ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

平成31年4月

尾道市立向島中央小学校
校長 本藤 展康

